山麓・郊外居住区域のニュータウン

このまま放っておくと…



スーパーが閉店していたり、
交流やにぎわいがなくて寂しいね

✦✦こんなまちにしていきたい！✦✦



生活に必要なサービスが確保され、
コミュニティが元気でいいね

50年先も心地よく健やかに住み続けられるまちへ

山麓・郊外居住区域の田園地域

このまま放っておくと…



空家・空地が多くて、
治安や景観がよくないね

✦✦こんなまちにしていきたい！✦✦



空家・空地が活用されていて、
生活するのが楽しそうだね

意見募集

皆さんのご意見を募集しています。
○神戸市都市空間向上計画 基本的な考え方 修正案

より詳しい計画の内容や意見募集に関しましては、神戸市のホームページをご覧ください。

［意見募集期間］
平成30年10月2日（火）～11月1日（木）

都市空間向上計画　検索

提出方法

［郵送・持参］
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所2号館4階
住宅都市局計画部都市計画課宛（平成30年11月1日（木）［消印有効］）
持参の場合は平日の8時45分から12時、13時から17時30分の間
［ファックス］078-322-6095　神戸市住宅都市局計画部都市計画課宛
［電子メール］toshikukan@office.city.kobe.lg.jp
［意見送信フォーム］市意見募集ホームページ上の意見送信フォームによる提出

※必ず提出者の住所、氏名及び「都市空間向上計画 基本的な考え方 修正案」に対する意見であることを記載してください。また、神戸市外にお住まいで市内に勤務・在学されている方は、事業所等又は学校の名称及び所在地を記載してください。

どんな計画をつくろうとしているのかな？ 詳しくは前のページへ

住宅都市局 計画部 都市計画課
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所2号館4階　TEL：078-322-5481 Fax：078-322-6095 / MAIL：toshikukan@office.city.kobe.lg.jp

神戸市広報印刷物登録　平成30年度第430号　（広報印刷物規格A-1類）

これからの、50年先の神戸について一緒に考えませんか？

神戸市では、都市空間向上計画策定に向けて取り組みを進めています。

人口減少・超高齢化・少子化… 忍び寄る危機

近所のお店の閉店



空家・空地による治安悪化



地域の診療所の閉院



地域の担い手不足



路線バスのダイヤ縮小



働き手1人で高齢者1人を支える



すでにあなたの周りでも起こっているかもしれません。

＼どうする神戸！？／

「50年先も心地よく健やかに住み続けられるまち」をめざし

❶人口減少に対応した持続可能な都市空間
❷神戸のもつ「多様性」を活かした都市空間
をつくっていきます。



人口減少、超高齢化などにより、これからゆっくりとわたしたちのまち（都市）にも様々な変化がおきることが予想されています。
「自治会の役員はお年寄りばかり」「空き家が増えた」「バスの本数が減って不便になった」「近くのスーパーが閉店した」など、身の回りで起こっている「まちの変化」について、みなさんも気づくことがあるでしょう。
20世紀、我が国では急増する人口への対応として、都市を拡大させてきました。神戸でも丘陵地のニュータウンと海上都市など様々な開発が進みました。
しかし、21世紀に入ると日本全体が人口減少の局面を迎え、神戸においても改めて時代にあった都市の将来像を考える時機がきています。そこで重要となるキーワードは「コンパクト」です。身の回りの暮らしに必要な施設やサービスを維持しながら、多世代がともに快適かつ健康で暮らせる魅力的なまちのデザインが求められています。
神戸には美しい景観、豊かで身近な緑、便利な交通、良好な住宅地、豊富な歴史文化など、素晴らしいたくさんの資源があります。これらを生かしながら、次の世代へバトンを繋げる都市・神戸のデザインを市民のみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

大阪市立大学大学院 教授　嘉名（かな） 光市（こういち）
神戸市都市空間向上計画策定に向けた有識者会議 座長
<研究分野>都市計画・都市デザイン，エリアマネジメント

どういう都市空間をつくっていくんだろう？ 詳しくは次のページへ

これからの神戸のまちづくりを聞かせて

人口減少に興味を持ったAくん。都市計画課のBさんに
神戸市がめざす将来のまちの姿について聞いてみることにしました。

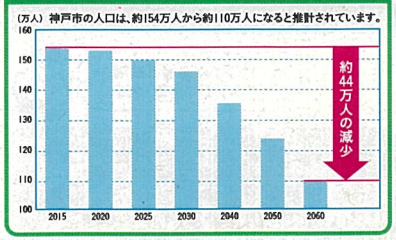
Aくん　Bさん

人口減少について

最近、人口減少ってよく聞くよね。

神戸市でも人口がピークだった2011年の
約154万人から、2060年には約110万になるという
リスクがあるんだよ。

神戸市将来推計人口



人口が想像以上に減るんだね…
高齢化も進むのかな?

2060年には、
働き手1人で高齢者1人を支える計算になるんだよ。

いろんな問題が起こりそうだね。

人口減少によって、まちのあちこちで
スポンジの穴のように空家・空地が発生してしまう
「都市のスポンジ化」という現象が起こってくるんだ。

「都市のスポンジ化」が起こったら、どうなるの?

地域に元気がなくなったり、生活のための
サービスが低下したり、治安が悪くなったり、
まちの魅力が下がってしまうんだ。

次世代に継ぐ持続可能なまちづくり

どう対応していくの?

神戸市は
「50年先も心地よく健やかに住み続けられるまち」を
めざして、都市空間向上計画をつくっていくんだ。

計画のねらい

①人口減少に対応した持続可能な都市空間
「人口減少・高齢化が、市民のみなさまの生活にも影響を及ぼす」という危機感を市民・事業者と共有し、人口が減少していく中でも安全・安心・快適で活力と魅力があり、若者をはじめとする多くの人に将来にわたって選ばれる質の高い都市空間をめざします。

②神戸のもつ「多様性」を活かした都市空間
神戸の都市空間は、海・山・まち・田園で構成されており、旧市街地やニュータウン、海上都市から農村集落まで個性豊かな地域が多くあります。地域の魅力・資源を有効活用し、さらに磨きをかけ、多様なライフスタイルを実現できる都市空間をめざします。

もちろん、人口減少を食い止める取り組みは進めるよ。
一方で、この計画は人口が減少しても
輝ける神戸であり続けるためのものなんだよ。

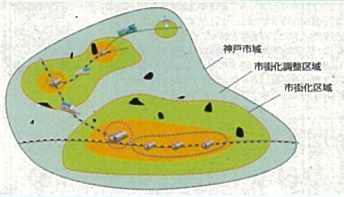
具体的にこの計画で何を決めるの?

駅から近い所・遠い所など住むところによって、
人口減少の影響は異なってくるから、場所に応じた
取り組みを進めるために、「居住」(住むところ)の考え方を
決めていくんだよ。

「居住」(住むところ)の考え方

鉄道駅周辺を「駅周辺居住区域」とし、駅という拠点性とその周辺のポテンシャルを活かした区域にしていきます。
鉄道駅から離れたところを「山麓・郊外居住区域」とし、地域の特徴・特性を活かした多様なくらしができる区域にしていきます。

めざす都市空間のイメージ



【居住】
- 駅周辺居住区域
- 山麓・郊外居住区域
- 防災上課題のある箇所

【都市機能】
- ○ 都心
- ○ 旧市街地型
- ○ 郊外拠点型

鉄道駅
バス停

駅から離れた「山麓・郊外居住区域」はどうするの?

「山麓・郊外居住区域」は、引き続き住むことを前提としているんだけど、人口減少・高齢化の影響を受けやすく、都市のスポンジ化が起こりやすい区域なんだ。
だから、神戸市として重点的に取り組む必要があると考えているんだ。
市民・事業者・行政が一緒になって地域の特徴・特性を活かしていく区域なんだよ。

具体的に何をするの?

人口が減少したとしても、良好な住環境を
形成していけるよう、様々な施策を展開していくんだ!

山麓・郊外居住区域の施策の方向性

❶ 良好な既存ストックの活用、住宅ストックの抑制
❷ アクセス機能の確保
❸ 生活関連サービスの確保
❹ 良好な地域コミュニティの維持・強化
❺ 雇用創出・子育て環境の向上
❻ 市街化調整区域との連携

いろんな施策を考えているんだね。
区域を決めたら、自治会等のコミュニティは分断されちゃうの?

施策を行うときは、これまでと同じように
各コミュニティの範囲で市民・事業者・行政が協働して
地域の問題に取り組んでいくんだよ。

「駅周辺居住区域」はどうするの?

駅ごとに持つ機能や役割は異なるけど、拠点性と
ポテンシャルを活かして、一定の人口密度を維持しつつ、
民間活力を活用した取り組みを進めていくよ。

農家さんたちがたくさん住んでいる
「市街化調整区域」はどうするの?

神戸の大事な特徴である農村・里山について、
機能保全やコミュニティの維持のために、
市街化調整区域に必要な人を呼び込む取り組みを
引き続き進めていくよ。

私たちにできること

僕たちの子、孫、その先の世代のためにも、
これからのまちのことを考えていかないとね。
何からはじめたらいいかな?

「50年先も心地よく健やかに住み続けられるまち」の
実現のために、いろんな意見・アイデアを募集しているよ。
詳しくは、ホームページを見てね。

僕も意見を書いてみるよ!

意見募集については、次のページへ



50年先も心地よく健やかに



住み続けられるまちへ



